

## 平成 30 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 30 年 7 月 14 日（土）

開式：午後 1 時 00 分 閉式：午後 1 時 45 分

場所：穴太多目的研修センター

参加者：男 20 人、女 0 人、計 20 人

町職員：町長、副町長、建設部長、総務部長、政策課員

- ・開会 13：00
- ・町長報告 13：00～13：30
- ・懇談 13：30～13：45
- ・閉会 13：45

### ○懇談

男性 1 東員第一中学校の移転は出来ないということでしょうか。

町長 現在の制度では農振農用地エリアに学校を移転することは出来ないため、開発の断念により移転はできません。しかし、東員町小中学校適正規模適正配置検討委員会を設置し、どのような方針でいくかを検討している段階です。新しい形の学校であれば移転の可能性がありますので、模索をしながら検討していきたいと思っています。

男性 1 まちづくりの顔の創造は今後どうされるのか。

町長 東員町のマスタープランを改定し、1つ1つ取り組んで分解して考えていこうと思っています。地方には地方 6 団体（知事会、市長会、町村会等）があり、6 団体からも国にもっと要望し、地方ならではの特色を理解し、地域が思う地域づくりをするために要望していきたいと思っています。

男性 1 買取価格に差があるならば、他に施策はなかったのか。

町長 価格の差は公共残土等を使用するなどして差を埋めにいったのですが、積水ハウス㈱と差が埋まらなかったのが現状です。

副町長　この場をかりて報告があります。大阪の地震によりブロック塀が倒れるという被害がありました。それに伴い、東員町教育委員会が調査をしました。1つ目は校内に危ない塀があるかどうか。2つ目は通学路に危ない塀があるのか。1つ目については目視ではありますが問題ありません。2つ目については、民地にありましたが、財産権などがあり、直接手を加えることが出来ません。国からガイドライン等情報がでてくるのを待ちたいと思います。

町長　もう一点報告させていただきます。RDF が来年度に終了します。それに伴い、RDF を撤退させる前に、三重県企業庁が接道する道路の補修をしていただくことで話しをしています。皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、よろしく申し上げます。

男性 2　東員第一中学校はどの要件（小中一貫校等）なら移転が可能ですか。また、超高齢化社会の穴太・筑紫は今後どのように生きていけば良いか。さらに空き家の対策についてはどうしていますか。

町長　小中一貫校にするには、子どもの数が多すぎるのが現状ですので、難しいです。東員第一中学校の移転については、教育委員会に持ち帰って検討します。

穴太・筑紫に関しては、市街化区域ですので 1km 圏内であれば（農振農用地以外の白地）ミニ開発が可能です。したがって、これから先の人口増加は見込めると思います。

空き家については、在来地区は多くなっています。非常に危険な空き家は特別措置により、今年 8 件強制撤去して壊しています。しかし、本当に住めない空き家は空き家全体の数パーセントしかないのが現状です。住める空き家については社宅として利用するなどを検討しているところでございます。